

みんなの夢の創造と実現のために……

星のゆめ

下松市観光協会
会報

VOL.13

編集・発行／下松市観光協会 発行責任者／小西矩志 Phone 0833-45-1843



★昭和45年11月14日 笠戸大橋が完成★

★昭和47年10月31日 巡航船 最後の日★

大手スーパーマイカルが経営破綻をしました。流通の分野においてスーパー、デパート、コンビニ、専門店とそれぞれのお客の奪い合いの中でスーパーの存在価値にややかげりがみえてきているようです。食料品部門ではデパートが売場の拡充に力を入れ、衣料部門ではユニクロを代表とする専門店が台頭してきました。日用品部門ではコンビニが消費者との距離の近さを武器に頑張っています。価格競争に走るいわば同質的な競争から、アイデアの実践を通しての異質な競争に、意欲的にチャレンジできる業界がこれからの新しい世代に受け入れられるのではないのでしょうか。いい「モノ」は効果的な「コト」によってさらに大きな効果を挙げることが出来ます。モノの本質の原点に帰りワクワクするような感動を伝える情熱が継続できれば、どんな小さな事業であれ必ずや何らかの結果が生まれるに違いありません。同時多発テロから始まった21世紀初頭の混乱は、小さくてもキラキラした明りをともし続ける事からスタートしたいものです。

(A)



めぐるとやまぐち 市町村館



市町村館でもいろいろなイベントが行なわれました。

- ・ワークショップ たまごポプリを作ろう
- ・交流広場 特産品紹介 ぶち、え～下松
- ・周南広域ブース 模型でGO!

14:10 下松市の日



時を忘れて、聞き惚れました



15:00 女声合唱団



15:30



13:40

たまごポプリ

懐かしい音色を聞かせてくれました



14:00

陣話術

かわいい人形達が大活躍しました



14:30

きつねの嫁入り



15:20

さんさ踊り

会場が一体となりました

お楽しみ抽選会

来場者全員に配布したうちわが抽選券になりました

次代につながる心からの元気をありがとう。

八月九日 きらら博下松市の日



12:20

手踊り隊パレード

東陽チンドン隊によるにぎやかなパレード



12:30

大正琴演奏

澄んだ音色が、すばしかった田村大正琴教室の皆さん



13:00

和太鼓演奏

力強い和太鼓と大正琴のジョイントはすばしかった



13:30

きつねの嫁入り行列



「下松市の日」実行委員会

委員長 小西 矩志

全出演団体によるフィナーレ「さんさ踊り」がきららホールの観客を呑みながら次第に大きな輪となって行き舞台と客席の踊りの輪がリンクした途端、突然音響が消え動きが止み会場一杯割れるような拍手がわき起った。進行次第の終了を悟るのに数秒もかからなかった。次の瞬間鳥肌立つ快い感動が全身を震わせた。

「いのちの未来」を主題にした21世紀未来博覧会協会を支援する未来博推進協議会が下松市に設立されたのは昨年6月のことだった。細野 毅会長のもと専任された各団体の委員で前売入場券の捌きや「下松市の日」出演予定団体の選考、PR映像用観光スポット・各産品紹介等内容の審議が行われた。並行し、今年3月に市民の積極的な参加による地域活性化と元気創出を目的とした「下松市の日」実行委員会が設立され出演団体を、心に出演・スタッフ構成、展示・陳列物リスト、全体スケジュールの検討と調整、リハーサルの実施等が当日まで強行軍でこなされていった。

8月9日苛酷な炎天の下、門外不出の奇祭狐の嫁入を初め郷土を代表する9団体の有志が熱演。くだまつのPRと元気を盛大に披露し、多大の貢献を果たした。紙面を借りて全出演者と、ご支援ご鞭撻くださった多くの市民に心から感謝と敬意を表すと共に体得された汗と力と感動に期待したいと思う。

会場準備



会場の至るところに、立てられたのぼり



12:00

開会セレモニー

中村小学校4年生 岸野ちかちゃんの開会宣言

きららホールだけでなく、外にも飛び出した奇祭『きつねの嫁入り』

「下松市の日」 出演団体紹介

(順不同)



福徳稲荷社奉賛会

私達の「きつねの嫁入り行列」が、下松市を出る事は初めてです。それに加え真夏の開催という事で幾つかの不安がありました。小学生から70代の方まで総勢百二十名の参加を戴き「花岡の元氣」を県民の皆様披露することができました。関係各位のご協力に感謝致します。



腹話術 小鳩会

八月九日きらら博下松市の日は私たちにとって生涯忘れ得ぬ思い出の日になりました。出演の日が近づくにつれ緊張と不安そして大変な重圧でした。でも微力ながら自分達の力で下松を、そして自分達の活動を知っていたために頑張ったことを今は誇りに思っています。ありがとうございます。



下松女声合唱団

21世紀最初の山口未来博「きらら博」に参加でき大変幸せに思っています。きららホールは舞台と客席が一体となつて熱気に溢れていました。明るく元気で若々しい女性パワー全開の歌声を楽しんで戴けたと思います。暑い夏の日、熱く燃え煌めいた「下松市の日」でした。



田村大正琴教室

中村郁文(小6)
ぼくは、きらら博に出演するため、毎日おばあちゃんと練習しました。会場のきららホールは人でいっぱい胸がドキドキしましたが、みんなで、きれいな演奏ができたので、良かったです。インタビューは、はずかしかったけれど、おばあちゃんとのいい思い出になりました。



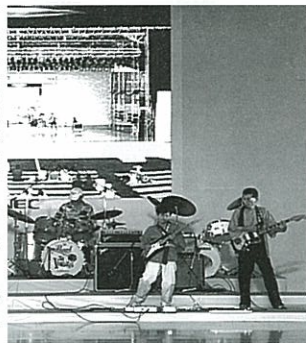
フリートークジヤム

市民、県民のひとりとして、きらら博「下松市の日」に参加でき、私達の拙い演奏でも県博覧会の成功に、僅かながらにも貢献できたと自負するとともに、誇りに思っています。また、今回の出演を契機に、十数年ぶりにバンドの仲間と旧交を温めることができ、全員喜んでいきます。



東陽チンドン隊

真夏の瞬間の出来事のように思い出させる山口きらら博は、私達「東陽チンドン隊」にとっても、素晴らしい「いのち燦めく」夏の一コマでした。汗を拭き拭き無我夢中での練習した成果を、下松市の代表として、私たちの元気を発表出来て本当にありがとう。「ドンドドドット、ドンドドット」の『まつり』囃子の太鼓のリズムが、まだかすかに耳にこだまする。



くだまつベンチャーズ

二〇〇一年八月九日きらら博「下松の日」は人生最大のイベントでした。思うに、今から30数年前、エレキバンドは不良少年の集りと世間から冷たい目で、注目されていた。続けていて良かった！いつまでも少年の心で良かった！下松 有り難う！そして、The Ventures 有り難う！



おあじようハーブ友の会

「下松に瀬戸内の地中海笠戸島あり」が紹介したくて頑張った。楽しかったなあ。少人数、倍力以上が発揮できたと自負している。提供した冷ハイビスカスティも好評。たまごポプリ講座も大人気。参加者の「ハーブってこんなに美しく楽しいの？」に疲れは吹っ飛んだ。きらら博下松の日大成功。



降松皇太鼓

星太鼓保存会 副会長兼指導者 田尾和則
のなさに悩んだ。まして、新人募集により、鼓員も序々に増えている最中のことで、練習も新人中心で行うしかなかった。練習は週2回と増やしたが、出席してくれる人間も少なく、合わせ稽古がなかなかままならなかった。当日まで不安を抱きながらの練習であったが、時には厳しく、時には優しく、「和」を持ちながら練習に励んだ。当日は、何となく気持ちも楽で、全員がやる気満々で大勢の観客の前で大興奮した。私事ではありますが、きらら博で大正琴とのセッションも初体験。私を含め、全員が心に残る、夏の1ページだったと思っ。

パフォー マンス

坊主になるのは
やダー!



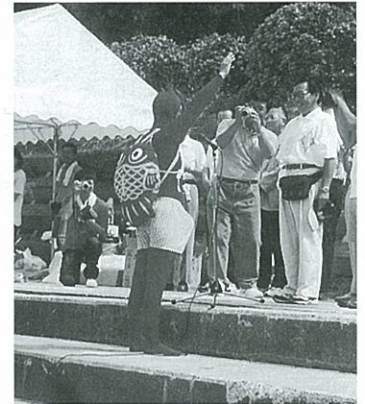
宝探し
砂の中には
大変なものが!



開会式選手宣誓

ビーチフラッグ

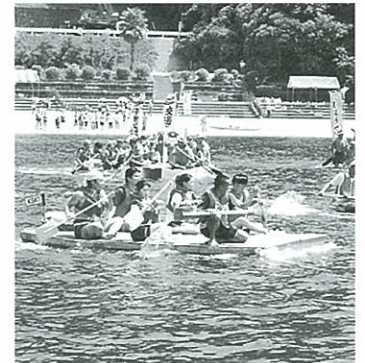
ビーチフラッグががんばりました



江津YEGの皆さん



第13回 笠戸島マリン イカダレース大会



去る8月26日、笠戸島のはなぐり海水浴場にて、第13回笠戸島マリンイカダレース大会が盛大におこなわれました。

今大会は、岸辺でのビーチフラッグや宝探しなども行なわれギャラリーの方々にも参加して頂けるものとなりました。

また、ゲストとして、島根県江津市の商工会議所青年部の皆さんも参加して頂きました。レース結果は下記の通りです。

総合順位	1位	周南裸会	総合ポイント	97点
	2位	ギンギラパラダイス	総合ポイント	95点
	3位	かたつむり	総合ポイント	91点

皆さんそう思いませんか。今、テレビや新聞見てたら、南台併でゴタゴタしてますの。もうすこし市民を真中にした議論と発想、そして努力をしっかりとみましますの。

始めて会場に海を造って利用したとか、ボランティアの活躍とかの、エコ対策でもの、県民総参加のイベントとかの、全てに参加者を中心にした発想と努力が一杯でそれが実を結んだでしょう。

間(県民)を真中に置いて企画されたと思えます。始めて会場に海を造って利用したとか、ボランティアの活躍とかの、エコ対策でもの、県民総参加のイベントとかの、全てに参加者を中心にした発想と努力が一杯でそれが実を結んだでしょう。

でも、それだけじゃ人は来んです。この博覧会は人の間(県民)を真中に置いて企画されたと思えます。始めて会場に海を造って利用したとか、ボランティアの活躍とかの、エコ対策でもの、県民総参加のイベントとかの、全てに参加者を中心にした発想と努力が一杯でそれが実を結んだでしょう。

みんな、山口きらら博に行きましたかいの。わしゃ仲間と何回も行きましたの。面白かったですの。楽しかったですの。沢山の元氣もらいましたの。期間中の入場者数が二百五十万人を越えて日本博の最高を記録したそうですの。何でこんなに人気が出たんじゃろうと考えましたいの。イブ・ペパンさんの「スターライトファンタジー」楽しかったですの。山本寛齋さんの「やまぐち元氣伝説」素晴しかったですの。わしゃこれだけは三回も見ましたの。



会員紹介

大橋ひろのぶ

Vol.13



(株)新周南新聞社 大橋ひろのぶ

おびきまきま

皆さんお元気ですか？

この夏は事務局を務めたフクコンサート(トリプルセブン)で大忙しでした。季節はすっかり冬ですが、かぜなど引かないように気をつけてくださいネ。さて、今回訪問した会員企業

三池孝尚の京都あれこれ

ただ今

”単身赴任中“

京都 仁和寺にて

あかい坊 名誉住職 三池孝尚

京だより11月 京都は秋の祭りのオンパレードだ。神さまが出雲大社にお出掛けの前にはしっかりとご馳走するということなのでしょう。京の秋祭りのハイライトは鞍馬の火祭りだ。前回貴船の川床料理のことを紹介したあの貴船の隣に鞍馬神社があり源義経が少年期に天狗を相手に剣法の修行をしたことで有名だ。今年の火祭りは生憎の大雨だった。京都

は、平田東潮上にあり、国電力下松発電所と、東海岸通りの武田アグロ製造株式会社です。両社とも広くて大きな社屋で、とても明るい雰囲気的印象でした。それではご紹介しましょう。

中国電力株式会社 下松発電所

下松市の海沿いに広がる32万平方メートルの大きな敷地に、200メートルもの長いえんとつを持つ下松発電所があります。敷地は何と東京ドームの約7倍の広さがあり、その4分の1は緑地だそうです。えんとつも県内で最も高い建物の一つで、発電所の中には野



球場やテニスコート、卓球場、クッキングルームもあって地域の皆さんの交流の場となっているそうです。

発電の燃料は重油と原油で107万5千キロワットの発電能力を

最大の祭りのひとつ時代祭りは翌日に延期されたのに鞍馬は行なわれた。この決定に対し私は「伝統」の重さと「信仰」の深さを感じた。猿田彦の面が付いた槍を先頭に神職、区長、保存会、氏子総代が並んで伝統に従って実行するパワーはさすがだ。雨の中の火祭りを想像してください。各家から2mもある松明を担い「サイレイ、サイリヨウ」と掛け声をかけて約1キロの町

内を歩いて神社の石段に大小200本を越える数が集まって並ぶのだ。異様なほど明るく壮観だ。長老が仕切り若者が従い、町内の縁者は家の中から見物し、外者は旅館やお店の2階からビデオのカメラを回していた。役の若者が一人成人に成るための儀式「チョッペン」といって大衆に大股を広げ「逆さ大の字」を作る作法が済めばもう、夜中だ。帰りの電車に1時間も待ち並んで帰る群衆がこの祭りを支えているのだ。 合掌



持。これは中国発電所の火力発電所の中でも3番目の大きさを誇ります。107万5千キロワットは、16両編成の新幹線を一度に500台ぐらい走らせる力があるそうです。 また1号機ができたのは昭和39年といえますから、ちょうど私と同じ年齢になります。 えんとつや石油タンク、ボイラーの外観も緑や白の自然に優しい色特徴です。

武田アグロ製造株式会社

下松市の東海岸通りに並ぶ企業の中でも、ひときわ目立つ白い建物がある、武田アグロ製造株式会社の社屋です。

武田アグロ製造は武田薬品工業の100%出資会社で、武田薬品グループでは最大の農薬製造拠点として、殺虫剤や殺菌剤、除草剤、家庭用園芸農薬なども造っているそうです。

白い外観が印象的な社屋ですが、社内には統合生産情報システムで管理されており、工場管理から製造、品質、事務、物流、工程、設備に至るまで、すべての管理を一元化し、コンピュータ管理するだけでなく武田薬品工業の管理システムとも統合化させ、効率化させているそうです。

訪問したとき社員の皆さんの元気なあいさつと笑顔が印象的でした。笠戸島マリンイカダレース大会には毎年参加して下さっているとのこと。



しかし、この数年ずっと最後尾ということ、来年からはパフォーマンスもしつかりして順位を上げたい」とのことでした。 ぜひガンバって下さいネ。

それでは、また次回お会いしましょう。次はどんな会社かな？

編集後記

県内最大のイベント山口きらら博が盛大のうちに閉幕し、今後はこの成果をどう生かすのか議論がなされている。いづれにせよ成功の大きな原動力となったボランティアの力を大切にしていろいろな方向性を出してほしいものです。

わが町下松でもきらら博だけでなく地元イベント「マリンイカダレース」においても沢山のボランティアの皆さんが活躍され、大会の盛り上げに尽力されていた。

いつ、どこでもこのパワーを発揮できるシステム作りが急がれます。(A)